

ソフトウォール施工仕様書

(1).工程表

工程	製品名	塗装方法	塗布量 (kg/m ²)	塗布 回数	塗装間隔時間 (23°C)	希釀材	希釀率
下地調整	・ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
1.下塗り	ソフトウォール	ウールローラー中毛	26~53m ² /16kg 0.3~0.6kg/m ²	1~2	5時間以上 工程内 5時間以上	清水	0.9~1.2L
		多孔質ローラー	10~20m ² /16 kg 0.8~1.5kg/m ²	1~2	5時間以上	清水	0.3~0.9L
		リシンガン 口径：4~6 mm 吹圧：0.5~0.6MPa エアレス圧送機	13~22m ² /16 kg 0.7~1.2kg/m ²	1~2	5時間以上 工程内 5時間以上	清水	0.6~0.9L
2.中塗り	アドグリーンコート®EXa	はけ	0.15	各1回	3時間以上	無希釀	
3.上塗り	又は アドグリーンコート®GL	ローラー（中毛） エアレス					

注) 上記の数値は標準的なものです。素地の状態、気象条件、施工条件、施工方法により多少の幅を生じることがあります。

注) 所要量の確認は塗見本との比較または単位体積当たりの使用量で確認して下さい。

注) 既存塗膜の状態によっては下塗材が必要な場合があります。注) 既存塗膜の脆弱部分は除去して下さい。

注) パターンの欠損部は必要に応じて既存塗膜の主材でパターン合わせを行って下さい。

注) 既存塗膜の凹凸が激しい場合は凸部をカットして下さい。

(2).材料荷姿

種類	材料名	荷姿	標準塗装面積
下塗り材	ソフトウォール	16 kg/缶	10 m ² ~53 m ² /缶
上塗り材	アドグリーンコート®EXa又はGL	14 kg/缶	90 m ² /缶

使用上の注意事項

- 1) 下地面は十分に乾燥させて下さい。
- 2) コンクリート面の突起物及びレイタスは、グラインダー掛け又は皮すきなどで除去して下さい。
- 3) 製品の練り混ぜは機械練り又は手練りとし、空練りを行った後、水を加え均一になるまで十分に練り混ぜて下さい。
- 4) 練り混ぜの水の量は仕様書の指定内で、塗り厚や水引などを考慮し施工に適する軟度が得られるよう調整下さい。小分けは正確に計量器を用いて行って下さい。
- 5) 標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工して下さい。
- 6) 材料は湿気や水掛かりに注意し、高温・直射日光下及び5°C以下の保管は避けて下さい。
- 7) 施工時は換気を十分行って下さい。

- 8) 施工場所の気温が5°C以下となる場合は施工を避けて下さい。
- 9) 降雨・結露・降雪又は強風の恐れがある場合は施工を避けて下さい。
- 10) 直射日光や風などで急激な乾燥が予想される場合は、シート養生を行うか、散水などの処理を講じて下さい。
- 11) 加水後の材料は可使時間内で使用して下さい。練り足し、水を加えての練り戻しは避けて下さい。
- 12) 白華した場合には水洗い等により除去してから次工程の作業を行って下さい。
- 13) 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(製品データシート)を参照下さい。